

【床シートの貼り方】

床シートの貼り方には、水を使う「ウェット」と水を使わない「ドライ」があります。
ここでは「ドライ」の貼り方について説明します。

〈準備作業〉

1. 位置決め

貼る位置を決めましょう。複数の場所に貼る場合は、床材の目地を目安にすると便利です。



2. 清掃

貼る位置が決まれば続いてそのエリアをしっかりと清掃します。この清掃の出来が仕上がりを左右すると言っても過言ではありません。

小さなチリや埃を見逃さないよう、しっかり水拭きを行ってください。

水拭きが終われば水分を残さないよう乾拭きで仕上げます。



3. 貼り始め

床シートの裏にある剥離紙を 10 センチほど剥がします。



さきほど決めた位置へしっかりと貼り付けましょう。

作業にはスキージ（※）等を用い、表面にキズをつけないように注意してください。



ここまでが準備作業です。

● それでは全体を貼っていきましょう！

作業は必ず 2 名 1 組で行います。1 人はスキージを使う“貼り手”、もう 1 人は剥離紙を剥がす“剥がし手”として作業を行います。



貼り手は、表面からスキージを使って少しずつ貼り進めます。

剥がし手は、準備作業3で少し剥がした剥離紙の端と床シートを持ち、貼り手のスピードに合わせて少しずつ剥離紙を剥がしながら進みます。

2人の息を合わせて急がず慎重に貼り進めてください。



貼り手は、スキージ（※）で表面を強くこすりつけながら、シート内に残った空気などを中央から左右へと押し出します。



剥がし手は、片手で床シートを適度に引っ張ることで皺が入らないようにテンションを掛けながら、もう片手で剥離紙を引きながら剥がします。



剥離紙が剥がれきったら貼り手が全体を
しっかりこすりつけて完成です。



(※) スキージとはプラスチックの板にフェルト等が付いたシートを貼る器具